

2019/4~2019/6

にっしん景況レポート

Vol.
13

2019/7



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2019年4~6月の景気の現状と2019年7~9月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2019年4~6月の実績(6月については予想)
2019年7~9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の358社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2019年4~6月
前期 = 2019年1~3月
前年同期 = 2018年4~6月
来期 = 2019年7~9月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	152	48	23	18	25	19	19
三木地区	54	17	11	5	8	9	4
神戸地区	152	24	22	17	40	26	23
業種合計	358	89	56	40	73	54	46

● 今期の景況

今期(2019年4月～6月)の全業種における業況判断D.I.は3.1となり、前期実績と比して変わらない結果となった。売上額判断D.I.は4.5となり、前期実績と比して2.0ポイントの改善、収益判断D.I.は1.4となり、前期実績と比して3.9ポイント改善した。

売上額判断D.I.の前年同期比は9.8、収益判断D.I.の前年同期比は4.8となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲31.3となり、前期実績より9.4ポイント改善したものの、調査開始の2016年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(2019年7月～9月)の予想業況判断D.I.は1.7と今期実績から低下する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は3.6、予想収益判断D.I.は2.5となり、今期実績から売上は低下、収益は改善する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	24	62	197	68	7	358
回答割合	6.7%	17.3%	55.0%	19.0%	2.0%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 24.022\% - 20.950\% \div 3.1$$

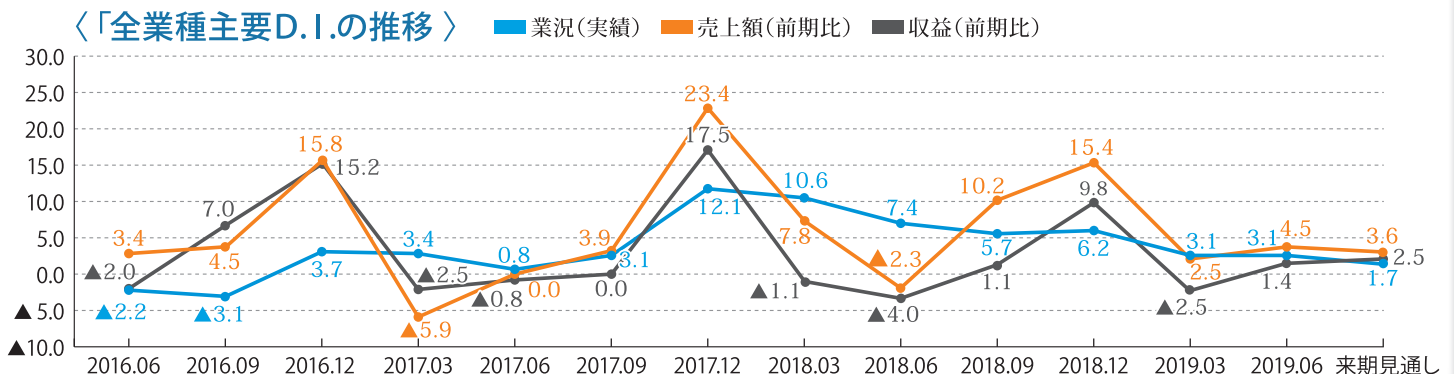
〈2019年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	5.9	8.3	0.0	▲11.1	28.0	26.3	▲26.3
三木地区	▲3.7	▲5.9	0.0	▲40.0	0.0	0.0	25.0
神戸地区	2.6	▲12.5	27.3	▲35.3	15.0	0.0	4.3
全地区	3.1	0.0	10.7	▲25.0	17.8	9.3	▲6.5

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	3.1	3.1	1.7	販売価格(前期比)	6.5	8.1	4.5
売上額(前期比)	2.5	4.5	3.6	仕入価格(前期比)	31.4	32.9	25.6
売上額(前年同期比)	11.8	9.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲3.1	4.5	2.2
収益(前期比)	▲2.5	1.4	2.5	人手不足(過剰-不足)	▲40.7	▲31.3	▲33.3
収益(前年同期比)	6.7	4.8	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I. は 0.0 となり、前期実績と比して 4.4 ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I. は▲5.6、収益判断D.I. は▲2.2 となり、前期実績と比して売上額判断D.I. は 4.5 ポイント低下、収益判断D.I. は 4.5 ポイント改善した。また売上額判断D.I. の前年同期比は▲7.9、収益判断D.I. の前年同期比は▲11.2 となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I. が▲27.0 となり、前期実績から 15.0 ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I. は 0.0 と今期実績から変わらない見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I. は 2.2、予想収益判断D.I. は 3.4 となり、今期実績から売上および収益は改善する見通しとなっている。

〈 製造業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	4.4	0.0	0.0	販売価格(前期比)	4.4	4.5	4.5
売上額(前期比)	▲1.1	▲5.6	2.2	仕入価格(前期比)	44.4	40.4	34.8
売上額(前年同期比)	5.6	▲7.9	—	資金繰り(楽-苦)	8.9	13.5	12.4
収益(前期比)	▲6.7	▲2.2	3.4	人手不足(過剰-不足)	▲42.0	▲27.0	▲29.2
収益(前年同期比)	2.2	▲11.2	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I. は 10.7 となり、前期実績と比して 3.6 ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I. は 19.6、収益判断D.I. は 17.9 となり、前期実績と比してそれぞれ 14.2 ポイント、7.2 ポイント改善した。また売上額判断D.I. の前年同期比は 23.6、収益判断D.I. の前年同期比は 16.4 となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I. が▲16.1 となり、前期実績から 17.8 ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I. は▲10.7 と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I. および予想収益判断D.I. は▲5.4 となり、今期実績から売上および収益は低下する見通しとなっている。

〈 卸売業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	7.1	10.7	▲10.7	販売価格(前期比)	7.1	7.1	1.8
売上額(前期比)	5.4	19.6	▲5.4	仕入価格(前期比)	30.4	28.6	17.9
売上額(前年同期比)	21.4	23.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲3.6	3.6	1.8
収益(前期比)	10.7	17.9	▲5.4	人手不足(過剰-不足)	▲33.9	▲16.1	▲17.9
収益(前年同期比)	17.9	16.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲25.0となり、前期実績と比して12.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.5、収益判断D.I.は▲2.5となり、前期実績と比してそれぞれ45.0ポイント、42.5ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.5、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は減少、収益は変わらないと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲20.0となり、前期実績から7.5ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲22.5と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲15.0、予想収益判断D.I.は▲12.5となり、今期実績から売上および収益は低下する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲37.5	▲25.0	▲22.5	販売価格(前期比)	▲15.0	5.0	▲2.5
売上額(前期比)	▲42.5	2.5	▲15.0	仕入価格(前期比)	17.5	30.0	12.5
売上額(前年同期比)	▲32.5	▲7.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲30.0	▲22.5	▲27.5
収益(前期比)	▲45.0	▲2.5	▲12.5	人手不足(過剰-不足)	▲27.5	▲20.0	▲27.5
収益(前年同期比)	▲27.5	0.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は17.8となり、前期実績と比して16.4ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は12.3、収益判断D.I.は9.6となり、前期実績と比してそれぞれ8.1ポイント、16.6ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は21.9、収益判断D.I.の前年同期比は15.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲46.6となり、前期実績よりも4.1ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は12.3と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は17.8、予想収益判断D.I.は13.7となり、今期実績から売上および収益は改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	1.4	17.8	12.3	販売価格(前期比)	9.9	12.3	6.8
売上額(前期比)	4.2	12.3	17.8	仕入価格(前期比)	22.5	31.5	23.3
売上額(前年同期比)	26.8	21.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲14.1	▲2.7	▲12.5
収益(前期比)	▲7.0	9.6	13.7	人手不足(過剰-不足)	▲50.7	▲46.6	▲47.2
収益(前年同期比)	9.9	15.1	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は9.3となり、前期実績と比して11.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が▲1.9、収益判断D.I.が▲11.1となり、前期実績と比してそれぞれ26.4ポイント、24.3ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は20.4、収益判断D.I.の前年同期比は3.7となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲44.4となり、前期実績から16.0ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は14.8と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は13.0、予想収益判断D.I.は9.3となり、今期実績から売上および収益は改善する見通しとなっている。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	20.8	9.3	14.8	販売価格(前期比)	13.2	11.1	11.1
売上額(前期比)	24.5	▲1.9	13.0	仕入価格(前期比)	34.0	37.0	37.0
売上額(前年同期比)	18.9	20.4	—	資金繰り(楽-苦)	7.5	9.3	11.1
収益(前期比)	13.2	▲11.1	9.3	人手不足(過剰-不足)	▲60.4	▲44.4	▲46.3
収益(前年同期比)	18.9	3.7	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲6.5となり、前期実績と比して19.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.2、収益判断D.I.は▲6.5となり、前期実績と比してそれぞれ14.8ポイント、21.4ポイント低下した。また売上額判断D.I.および収益判断D.I.の前年同期比は10.9となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲28.3となり、前期実績から8.7ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は8.7と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は0.0、予想収益判断D.I.は▲2.2となり、今期実績から売上は低下、収益は改善する見通しとなっている。

〈不動産業主要D.I.〉

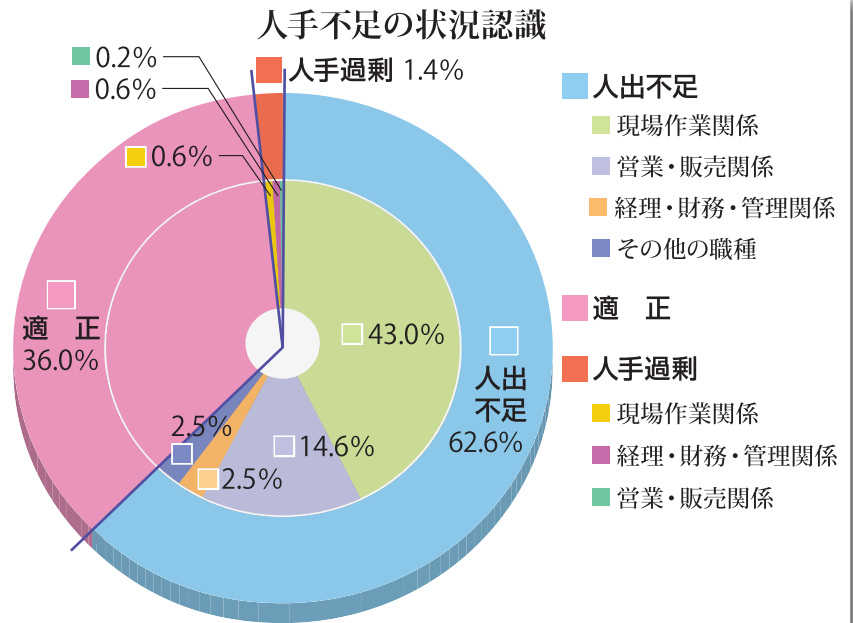
	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	12.8	▲6.5	8.7	販売価格(前期比)	15.2	8.9	2.2
売上額(前期比)	17.0	2.2	0.0	仕入価格(前期比)	29.5	22.7	18.2
売上額(前年同期比)	19.1	10.9	—	資金繰り(楽-苦)	2.1	17.4	21.7
収益(前期比)	14.9	▲6.5	▲2.2	人手不足(過剰-不足)	▲19.6	▲28.3	▲28.3
収益(前年同期比)	12.8	10.9	—				

特別調査：中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について

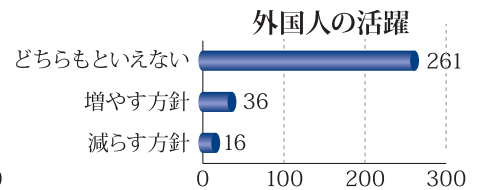
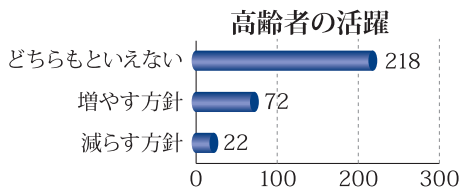
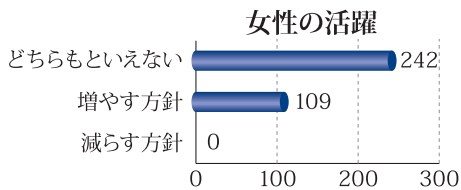
● 人手不足の状況認識について

人手不足の状況認識については、「人手不足」62.6%、「適正」36.0%、「人手過剰」1.4%となった。

「人手不足」の内訳は「現場作業関係（43.0%）」が最も多く、次いで「営業・販売関係（14.6%）」、「経理・財務・管理関係（2.5%）」、「その他の職種（2.5%）」となった。



● 女性、高齢者、外国人の活躍推進に関する考え方について



人手不足で採用が困難になりつつあるなか、女性・高齢者・外国人の活躍推進に関して質問しました。

女性の活躍推進に関する考え方については、「どちらともいえない」242件が最も多く、次いで「増やす方針」109件となった。

高齢者の活躍推進に関する考え方については、「どちらともいえない」218件が最も多く、次いで「増やす方針」72件、「減らす方針」22件となった。

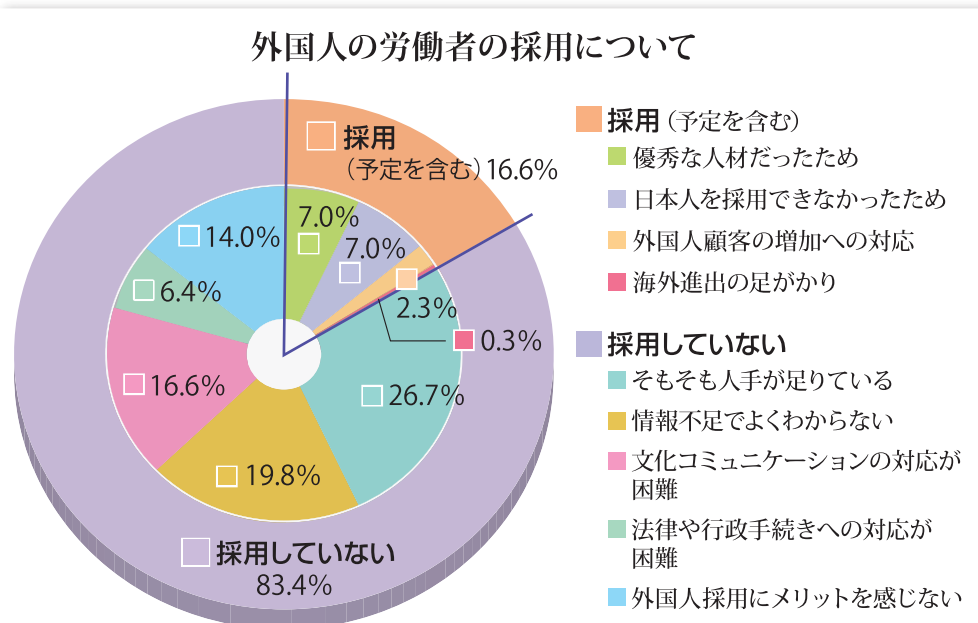
外国人の活躍推進に関する考え方については、「どちらともいえない」261件が最も多く、次いで「増やす方針」36件、「減らす方針」16件となった。

● 外国人労働者の採用について

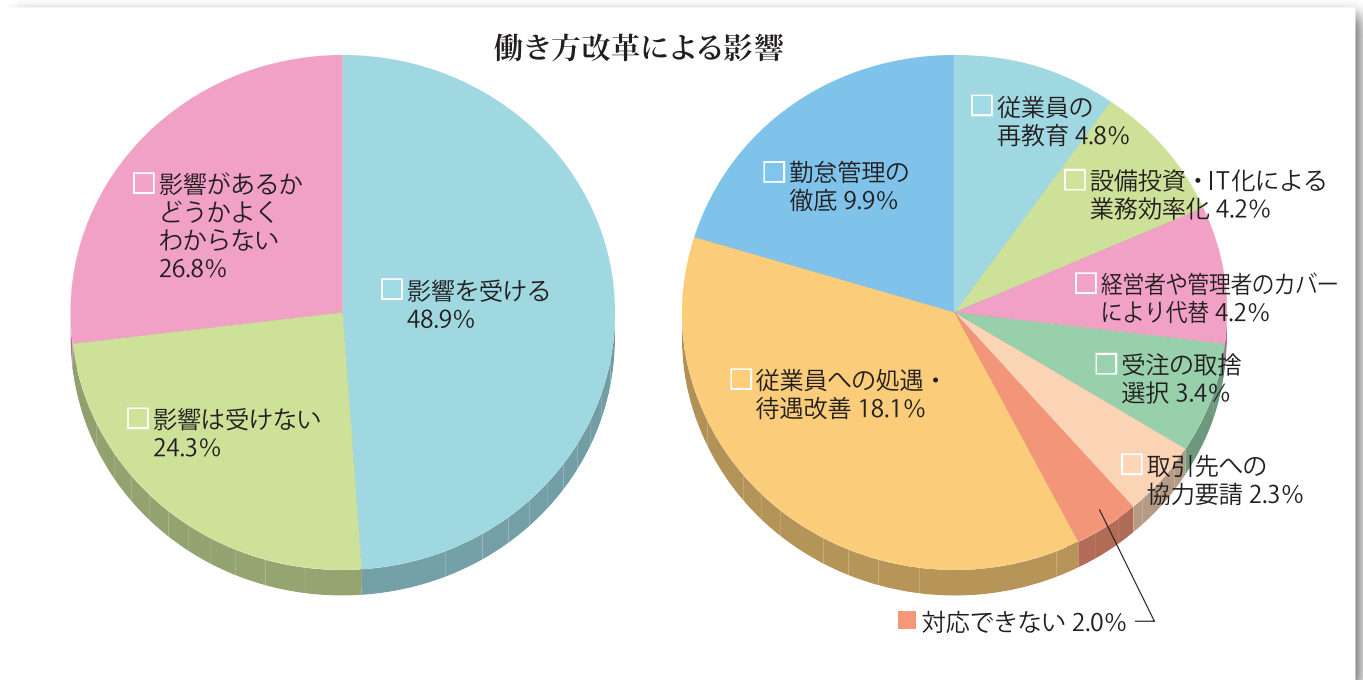
外国人労働者の採用については、「採用（予定を含む）」16.6%、「採用していない」83.4%となった。

外国人労働者を採用する理由は、「優秀な人材だったため」および「日本人を採用できなかったため」が多く、それぞれ7.0%となった。

外国人労働者を採用しない理由は、「そもそも人手が足りている（26.7%）」が最も多く、次いで「情報不足でよくわからない（19.8%）」、「文化・コミュニケーションの対応が困難（16.6%）」となった。



● 働き方改革による影響について

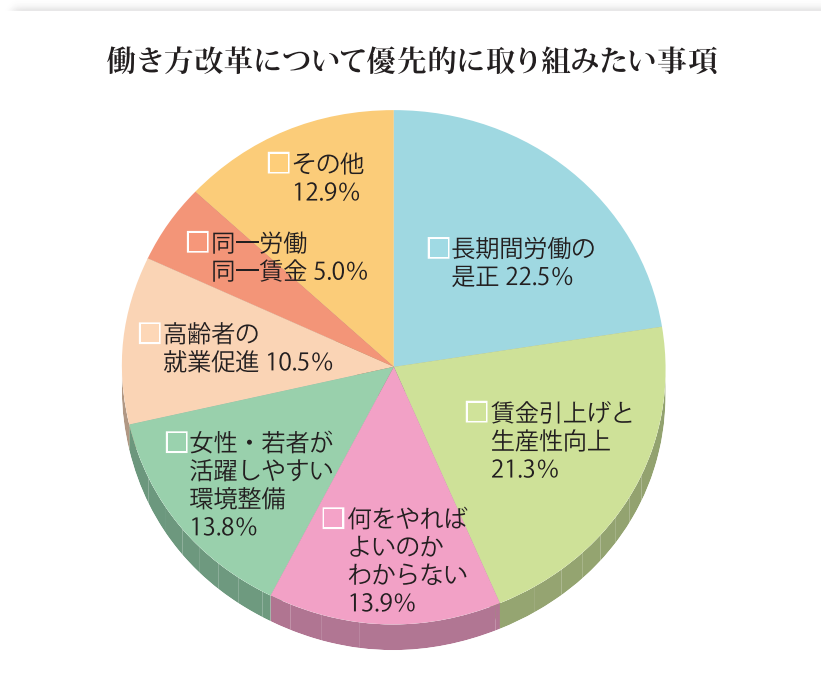


働き方改革による影響については、「影響を受ける」48.9%、「影響は受けない」24.3%、「影響があるかどうかよくわからない」26.8%となった。

「働き方改革の影響を受ける」の内訳としては、「従業員への処遇・待遇改善(18.1%)」が最も多く、次いで「勤怠管理の徹底(9.9%)」、「従業員の再教育(4.8%)」、「設備投資・IT化による業務効率化(4.2%)」、「経営者や管理者のカバーにより代替(4.2%)」となった。

● 働き方改革について優先的に取り組みたい事項について

働き方改革について優先的に取り組みたい事項については、「長時間労働の是正(22.5%)」が最も多く、次いで「賃金引き上げと生産性向上(21.3%)」、「何をやればよいかわからない(13.9%)」、「女性・若者が活躍しやすい環境整備(13.8%)」、「高齢者の就業促進(10.5%)」、「同一労働同一賃金(5.0%)」、「その他(12.9%)」となった。



イベント関連

●「にっしん輝きメッセ2019」を実施します！

昨年に引き続き、西日本最大規模のビジネスマッチングフェア「国際フロンティア産業メッセ」と同時開催で、「にっしん輝きメッセ2019」を開催します。

今年度も25社の当金庫お取引先様がブースを出展し、自社開発や製品のPRを行います！

- 会 期：2019年9月5日(木)・6日(金) 10:00～17:00
 - 会 場：神戸国際展示場1号館 (神戸ポートアイランド)
- ※今年度のブース出展の受付は終了しています。

●「明石公園パパたごりレマソン」に協賛します！

2012年より当金庫が特別協賛している「明石公園パパたごりレマソン」が、今年も明石公園陸上競技場で開催されます。ご家族、お友達同士、学校や会社の仲間など、チームを作って参加してみませんか？

- 開催日：2019年11月2日(土)
- 開催種目：リレマソン、親子マソン、個人
- 会 場：きしろスタジアム(明石公園陸上競技場)

詳細はJTBスポーツステーションホームページ <https://jtbsports.jp/>をご覧ください。

●「令和元年国内旅行」を実施します！

年金受給者様へのサービスとお客様とのより一層の親交を図るため、今秋、国内旅行を実施します。詳細はお取引店までお問合せください。

日帰り旅行 歴史と魅力溢れる京都御所と和楽器流れる平安神宮神苑ランチ
京都市内を一望 青龍殿大舞台への旅
2019年10月9日(水)、10月10日(木)、10月11日(金)

1泊2日旅行 祝令和元年オリジナル御朱印帳でお伊勢参りツアー
2019年11月12日(火)～13日(水)
2019年11月13日(水)～14日(木)
2019年11月14日(木)～15日(金)

商品関連

- キャンペーン商品としてお取扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)

- 当金庫の新たな情報発信ツールとして「LINE@」をはじめました。「LINE@」では当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第13回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで